



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 株式会社ジャムコ 上場取引所 東
 コード番号 7408 URL <https://www.jamco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大喜多 治年
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 木村 敏和 (TEL) 042-503-9145
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	38,043	△5.5	1,906	—	1,873	—	1,034	—
29年3月期第2四半期	40,248	△5.4	△293	—	△1,759	—	△1,122	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,338百万円(—%) 29年3月期第2四半期 △1,680百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	38.57	—
29年3月期第2四半期	△41.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	90,489	29,001	31.2
29年3月期	92,559	28,003	29.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 28,192百万円 29年3月期 27,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年3月期	—	0.00			
30年3月期(予想)			—	20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,400	△3.0	3,800	78.2	3,470	169.8	2,280	124.7	84.99

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	26,863,974株	29年3月期	26,863,974株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	38,762株	29年3月期	38,730株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	26,825,221株	29年3月期2Q	26,825,286株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書事項	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、米国の景気回復が進み、日本及びユーロ圏も緩やかな景気回復基調にあり、中国及び新興諸国の景気も持ち直しの動きが見られるなど、世界経済全体は概ね堅調に推移しました。為替市場は、米国の金融政策の動向や北朝鮮情勢の警戒感の高まりなどで先行き不透明な状況から、ドル円為替相場は、108円/米ドルから114円/米ドルの範囲で推移していましたが、米連邦準備理事会(FRB)が9月20日～21日に開催した連邦公開市場委員会(FOMC)で当面の利上げに前向きな姿勢を示したことから、ドルが底堅さを増していく見通しとなり、直近ではドル高円安傾向となりました。

航空輸送業界では、格安航空会社(LCC)の攻勢により競争の激化が続いていますが、世界的な航空需要の拡大と原油安により、米国、日本をはじめとした一部の大手エアラインの収益は改善傾向にあります。航空機メーカーは、航空需要の高まりを背景に、今後20年間で新型の民間航空機需要は4万機を超える見通しを発表しており、現在の受注残機数も高水準を維持していることから、航空機市場は引き続き堅調に推移すると見込まれます。又、ボーイングとエアバスが相次いで日本からの調達拡大方針を明らかにしており、ボーイング787については月産機数を現在の12機から2019年には14機に引き上げる計画も示されるなど、当社を含めた航空機関連メーカーの受注拡大が期待されています。

こうしたなか当社グループでは、航空機内装品等製造関連及び航空機シート等製造関連においては、生産効率改善に努めると共に、コスト削減の取組みを進めました。

航空機器等製造関連においては、炭素繊維構造部材及び航空機エンジン部品の生産性改善を進めました。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取組みを継続すると共に、各種サービスの充実と収益改善の取組みに加え、新規品目の受注を進めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 38,043 百万円(前年同四半期比 2,205百万円減)、営業利益 1,906百万円(前年同四半期は営業損失 293百万円)、経常利益 1,873百万円(前年同四半期は経常損失 1,759百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益 1,034百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失 1,122百万円)となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末に次期以降の完成工事に対する工事損失引当金を 2,350百万円計上しております。この工事損失引当金による期間損益への影響は、当第2四半期連結会計期間において売上原価 2,448百万円の減少(第1四半期連結会計期間末の工事損失引当金は 4,798百万円)、又、当第2四半期連結累計期間においては売上原価 1,084百万円の減少(前連結会計年度末の工事損失引当金は 3,434百万円)となりました。

グループ全体の販売費及び一般管理費、営業外損益、特別損益の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、保証工事費の減少等により 3,934百万円(前年同四半期比 501百万円減)となりました。

営業外損益は、急激な円高によって為替差損 1,298百万円を計上した前年同四半期に対して 1,432百万円改善して 33百万円の損(前年同四半期は、1,465百万円の損)となりました。

特別損益は、固定資産処分損により、29百万円の損(前年同四半期は、24百万円の損)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

[航空機内装品等製造関連]

当事業では、前年同四半期に対して為替相場が円安で推移したことによるドル建て売上高の上振れがりましたが、ボーイングが開発中の777X型機への移行の端境期を迎えた現行の777型機向けのギャレー及びラバトリーの出荷数の減少などで、売上高は前年同四半期に比べ減少しました。一方、経常利益については、売上高の減少の影響はあったものの、円安によるドル建て売上高の上振れに加え、コストダウン施策による原価低減及び工事損失引当金の減少などにより、前年同四半期に比べ増加しました。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高 25,846百万円(前年同四半期比 2,394百万円減)、経常利益 3,833百万円(前年同四半期比 3,372百万円増)となりました。

[航空機シート等製造関連]

当事業では、新規プログラムの製品出荷とシートのスペアパーツ販売の増加により、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。一方、経常損益については、生産効率の改善等による採算性の向上に努めたものの、新規プログラムの開発・製造工程における初期コストの増加などから経常損失となりました。

この結果、航空機シート等製造関連は、売上高 6,274百万円(前年同四半期比 625百万円増)、経常損失 1,860百万円(前年同四半期は経常損失 2,099百万円)となりました。

[航空機器等製造関連]

当事業では、航空機エンジン部品の生産は増加しましたが、エアバスA380型機の月産機数減少の影響等により炭素繊維構造部材(ADP)の生産量が減少し、又、熱交換器等防衛関連の出荷も減少したことなどから、前年同四半期に比べ売上高は減少しました。経常損益については、炭素繊維構造部材の新規品目のコスト削減と航空機エンジン部品の生産効率の改善はあったものの、熱交換器等防衛関連の売上高減少が大きく影響し経常損失となりました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 2,799百万円(前年同四半期比 445百万円減)、経常損失 70百万円(前年同四半期は経常損失 85百万円)となりました。

[航空機整備等関連]

当事業では、アイベックスエアラインズ(株)とパートナーシップ協定を締結するなどリージョナル機整備分野の強化を進めましたが、航空局飛行検査機の日常点検及び整備の契約終了などで機体整備における完成工事が減少しました。一方、装備品整備の生産が堅調に推移したことから、前年同四半期に比べ売上高は増加し、経常損益は改善したものの経常損失となりました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 3,122百万円(前年同四半期比 9百万円増)、経常損失 30百万円(前年同四半期は経常損失 35百万円)となりました。

[その他]

その他の区分には、連結子会社の(株)オレンジジャムコの事業を含んでおり、航空機内装品等製造関連の補助的作業等セグメント間の内部取引が中心で、順調に進めることができました。

この結果、その他の区分では、売上高 0百万円(前年同四半期比 0百万円減)、経常利益 1百万円(前年同四半期は経常損失 1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は 90,489百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2,070百万円減少しました。内、流動資産については、現金及び預金の増加(前期比 1,509百万円増)、仕掛品の増加(前期比 1,677百万円増)等がありましたが、受取手形及び売掛金の減少(前期比 3,249百万円減)等により流動資産合計は前連結会計年度末に比べ 1,843百万円減少しました。又、固定資産については、当第2四半期連結累計期間の投資案件が比較的少なかったことから固定資産合計で前連結会計年度末に比べて 227百万円減少しました。

負債合計は61,487百万円となり、前連結会計年度末に比べ 3,069百万円減少しました。主な要因は、賞与引当金の増加(前期比 466百万円増)等がありましたが、支払手形及び買掛金の減少(前期比 2,318百万円減)、短期借入金の減少(前期比 561百万円減)、工事損失引当金の減少(前期比 1,084百万円減)等によるものです。

純資産合計は 29,001百万円となり、前連結会計年度末に比べ 998百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加(前期比 766百万円増)等によるものです。この結果、自己資本比率は31.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の増減は、以下に記載のキャッシュ・フローにより、前年同四半期に比べ 2,599百万円増加しました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、3,115百万円のキャッシュ・インフローとなり、前年同四半期に比べ 2,619百万円収入が増加しました。これは、税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少による収入の増加等によるものです。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、813百万円のキャッシュ・アウトフローとなり、前年同四半期に比べ 843百万円支出が減少しました。これは、費用節減のために不急な設備投資案件の実施を見合わせたことなどによるものです。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、975百万円のキャッシュ・アウトフローとなりました。これは、金融機関からの借入金による収入に比べて、借入金の返済などの支出等が上回ったことなどによるものです。(前年同四半期は、155百万円のキャッシュ・インフロー)

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間では、航空機シート等製造関連において新規プログラムの初期コストの増加などで経常損失となったものの、航空機内装品等製造関連の経常利益が増加したことにより、当社グループ全体の業績は平成29年5月10日に公表した平成30年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想数値に対して著しい乖離はなかったことも踏まえ、平成29年5月10日に公表した平成30年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。なお、前提となる為替レートにおいても、1米ドル当たり110円から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,277,428	3,786,866
受取手形及び売掛金	23,158,092	19,908,258
商品及び製品	602,859	548,535
仕掛品	23,098,314	24,775,895
原材料及び貯蔵品	17,659,592	16,486,942
その他	5,958,534	5,405,584
貸倒引当金	△6,161	△6,695
流動資産合計	72,748,660	70,905,389
固定資産		
有形固定資産	14,356,198	13,957,973
無形固定資産	1,562,225	1,596,774
投資その他の資産	3,892,687	4,029,066
固定資産合計	19,811,111	19,583,814
資産合計	92,559,772	90,489,203
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,608,011	7,289,949
電子記録債務	6,371,831	6,986,645
短期借入金	22,741,823	22,179,856
1年内返済予定の長期借入金	700,000	600,000
未払法人税等	965,269	610,214
賞与引当金	1,302,943	1,768,994
工事損失引当金	3,434,215	2,350,148
その他	7,121,763	7,199,521
流動負債合計	52,245,859	48,985,330
固定負債		
長期借入金	4,700,000	4,800,000
役員退職慰労引当金	175,420	157,172
執行役員退職慰労引当金	119,702	139,322
退職給付に係る負債	6,808,585	6,846,537
その他	506,664	558,843
固定負債合計	12,310,373	12,501,875
負債合計	64,556,232	61,487,206

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,367,993	4,367,993
利益剰余金	17,626,220	18,392,659
自己株式	△30,689	△30,772
株主資本合計	27,323,417	28,089,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,871	155,352
繰延ヘッジ損益	△72,280	△7,145
為替換算調整勘定	135,690	212,192
退職給付に係る調整累計額	△304,154	△257,345
その他の包括利益累計額合計	△133,873	103,054
非支配株主持分	813,996	809,168
純資産合計	28,003,540	29,001,996
負債純資産合計	92,559,772	90,489,203

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	40,248,475	38,043,331
売上原価	36,106,178	32,201,886
売上総利益	4,142,296	5,841,444
販売費及び一般管理費	4,436,205	3,934,671
営業利益又は営業損失(△)	△293,908	1,906,772
営業外収益		
受取利息	3,080	7,381
受取配当金	3,237	3,397
持分法による投資利益	13,573	9,406
保険配当金	5,915	8,813
助成金収入	57,946	52,669
受取保険金	-	33,000
その他	17,465	49,510
営業外収益合計	101,218	164,178
営業外費用		
支払利息	139,320	159,728
為替差損	1,298,538	166
その他	128,999	37,819
営業外費用合計	1,566,858	197,713
経常利益又は経常損失(△)	△1,759,549	1,873,237
特別利益		
固定資産売却益	139	-
特別利益合計	139	-
特別損失		
固定資産処分損	11,282	29,106
本社移転費用	13,320	-
特別損失合計	24,603	29,106
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,784,012	1,844,130
法人税、住民税及び事業税	117,079	620,008
法人税等調整額	△768,247	140,264
法人税等合計	△651,167	760,273
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,132,844	1,083,857
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,159	49,165
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,122,685	1,034,691

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,132,844	1,083,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,644	48,481
繰延ヘッジ損益	-	65,135
為替換算調整勘定	△550,906	87,754
退職給付に係る調整額	40,869	46,809
持分法適用会社に対する持分相当額	△18,750	6,116
その他の包括利益合計	△547,432	254,297
四半期包括利益	△1,680,277	1,338,154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,579,107	1,271,620
非支配株主に係る四半期包括利益	△101,170	66,534

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,784,012	1,844,130
減価償却費	1,165,027	1,085,843
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	58,773	106,649
引当金の増減額(△は減少)	1,223,089	△617,516
受取利息及び受取配当金	△6,317	△10,778
支払利息	139,320	159,728
為替差損益(△は益)	△324,063	△37,023
持分法による投資損益(△は益)	△13,573	△9,406
売上債権の増減額(△は増加)	1,356,950	3,290,954
たな卸資産の増減額(△は増加)	955,281	△407,468
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,456,241	△1,744,308
前受金の増減額(△は減少)	△796,210	△294,695
未払又は未収消費税等の増減額	716,391	63,438
その他	748,946	478,956
小計	1,983,361	3,908,503
利息及び配当金の受取額	25,757	30,194
利息の支払額	△138,829	△174,289
その他の収入	71,731	147,934
その他の支出	△17,616	△1,062
法人税等の支払額	△1,428,110	△795,659
営業活動によるキャッシュ・フロー	496,294	3,115,620
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,055,044	△588,451
有形固定資産の売却による収入	417	5,930
投資有価証券の取得による支出	△1,394	△888
貸付金の回収による収入	2,205	670
その他	△603,269	△230,843
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,657,085	△813,582
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	30,988,820	29,861,765
短期借入金の返済による支出	△29,809,525	△30,425,201
長期借入れによる収入	300,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△92,128	△700,000
リース債務の返済による支出	△107,784	△71,932
自己株式の取得による支出	△236	△83
配当金の支払額	△1,069,943	△268,595
非支配株主への配当金の支払額	△53,281	△71,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	155,920	△975,410
現金及び現金同等物に係る換算差額	△200,550	67,640
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,205,421	1,394,268
現金及び現金同等物の期首残高	3,479,003	1,772,528
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,273,582	3,166,796

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	28,241,014	5,648,830	3,245,681	3,112,897	40,248,423	52	40,248,475
セグメント間の内部 売上高又は振替高	327,175	—	1,153	29,252	357,580	45,206	402,786
計	28,568,189	5,648,830	3,246,834	3,142,149	40,606,004	45,258	40,651,262
セグメント利益 又は損失(△)	461,253	△2,099,132	△85,585	△35,026	△1,758,490	△1,058	△1,759,549

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコ及び㈱ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,758,490
「その他」の区分の利益	△1,058
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△1,759,549

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	25,846,458	6,274,522	2,799,974	3,122,364	38,043,319	11	38,043,331
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,019,339	—	898	111,925	1,132,163	52,037	1,184,201
計	26,865,798	6,274,522	2,800,872	3,234,289	39,175,483	52,049	39,227,532
セグメント利益 又は損失(△)	3,833,647	△1,860,927	△70,504	△30,242	1,871,972	1,264	1,873,237

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,871,972
「その他」の区分の利益	1,264
四半期連結損益計算書の経常利益	1,873,237

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。